



○いつもいる場所で

- ・ 静かに寝ているが尻尾は動いている   0→1 つも見られない
- ・ 後ろ足を伸縮している／わき腹を収縮させている  1→1 つだけ見られる
- ・ 半分目を閉じている  2→2 つ見られる
- ・ 手術痕（痛む場所）を舐めたり噛んだりしている  3→3 つ以上見られる

合計  点

○姿勢

- ・ 普段と変わらない  0 点
- ・ 普段と変わらないが力みが見られる  1 点
- ・ 顔を下げた背中を丸めている／壁に寄りかかって半分あおむけになり、後肢は伸びていたりたたんでいたり  2 点
- ・ 頻繁に体勢を変えてじっくりくる位置を見つけようとしている  3 点

合計  点

○猫に近づいて…

【 鳴き声 】

- ・ うなったりシャーと威嚇したりせず、近くに寄って触るとゴロゴロの音を鳴らしたりニャーと泣いたりして人と交流する  0 点
- ・ 近くに寄っただけでゴロゴロの音を鳴らす  1 点
- ・ 触ったり体勢を変えようとするとうなったりシャーと威嚇したりする  2 点
- ・ 近づいただけでうなったりシャーと威嚇したりする  3 点

合計  点

【 居心地 】

- ・ 人が近づいたり触ったりすると交流しようとする／周囲の様子に興味を示す  0 点
- ・ 人とあまり交流をせず、周囲の様子にもあまり興味を示さない  1 点
- ・ 人が近づいたり触ったりしても交流しようとし、周囲の様子に全く興味を示さない  2 点
- ・ ケージの後方に引きこもり、人が近づいたり触ったりしても交流を避ける  3 点

合計  点

【 活動性 】

- ・ 普段通りに動いている＝活発に動こうとする  0 点
- ・ 普段以上に動いている＝ケージの中でも左右行ったり来たりする  1 点
- ・ 普段より動きが少ない＝促して初めて動こうとする  2 点
- ・ 動こうとしない＝促しても動こうとしない  3 点

合計  点

【 態度 】

以下に示す A～E の行動の中で、観察される数をカウントする。

- A 警戒心がなく周囲の環境に興味を抱いている／人に対して友好的で交流しようとする
- B おもちゃや遊びに興味を示さず、呼んだり撫でたりしても反応が薄い
- C 周囲を見渡したり探索しようとし、しない
- D 隠れたり逃げたり、触られるとすぐにうなったり威嚇しようとする
- E 触られると引っ掻こうとしたり噛み付こうとする

- A…0 点
- B～Eのうち1つ…1 点
- B～Eのうち2つ…2 点
- B～Eのうち3つ以上…3 点

合計  点

【 食欲 】

- ・ 普段どおり食べている  0 点
- ・ 普段以上に食べている  1 点
- ・ 普段より食が進まない  2 点
- ・ 食事に興味を示さない  3 点

合計  点

○触ってみる

【 おなかや脇腹を触った時の反応 】

- ・ 触っても反応しない／手術前と変わらない  0 点
- ・ 触っても反応しないが押すと抵抗する  1 点
- ・ 触っただけで抵抗する  2 点
- ・ 手術部位に手を伸ばしただけで抵抗する  3 点

合計  点

【 手術部位を触った時の反応 】

- ・ 触っても反応しない／手術前と変わらない  0 点
- ・ 触っても反応しないが押すと声を出したり噛み付いたりする  1 点
- ・ 触っただけで声を出したり噛み付いたりする  2 点
- ・ 手術部位に手を伸ばしただけで声を出したり噛み付いたりする  3 点

合計  点

すべての項目をチェックした後、ポイントを累計します。鎮痛剤などによる介入が必要となるのは 8 ポイントからとされています。ただしポイントが低くても明らかに痛みを感じている場合は、獣医師の判断で疼痛管理を行うという柔軟性も必要です。痛みの度合いと総合ポイントとの相関関係は以下です。

総合計  点

0=痛みなし / 1～8=わずかな痛みがある / 9～21=中程度の痛みがある / 22～30=重度の痛みがある